

Milky Way

やさしさが舞い降りる夜には
てのひらの温度が少しだけ
高くなるのかもしれないね

指の透き間から流れて行く光たちは
零れて終わってしまうのでは無くて
それぞれの辛い道のりを
苦しみや優しさを背負いながら
きっと誰かに辿り着いていく

いつでもその場所から
指先を握り返してくれていたから
擦りむいた膝にバンドエイドを貼って
ここまで歩いて来られたのかもしれないね

明日も朝がやって来て
日めくりは数字を重ねるけれど
楽しい日ばかりが待っている訳じゃ無い

生命線が天の川のように
ゆるやかなカーブを描いて
昨日までもこれからの日も

静かにわたしを銘している

明日もあなたのもとへ

温もりを届けられますようにって

祈っている

2000年 WEB 小詩集「さやけき」所収

<http://homepage.mac.com/tmoegi/SK/sayakeki.html>